

タップスター試験成績書

スチール製 M12×60

《 引抜き試験 》



日本パワーファスニング株式会社

1. 目的：スチール製タップスターの引抜き試験を実施し参考データとする。

2. 試験項目：引抜き試験

3. 試験試料：スチール製タップスター M12×60 以降「TP1260」

4. 試験母材：コンクリート 1300×900×200mm 設計強度21N/mm²

5. 試験機器具

5-1	油圧ジャッキ（センターホール式シリンダ）	品番：DC3-100	[理研機器株式会社]
5-2	油圧コントローラー	品番：SMP-3	[理研機器株式会社]
5-3	ロードセル	品番：KCM-100KNA	[株式会社東京測器研究所]
5-4	データロガー	品番：TDS-540	[株式会社東京測器研究所]
5-5	変位計	品番：CDP-50	[株式会社東京測器研究所]
5-6	ハンマードリル	品番：HR244D	[株式会社マキタ]
5-7	インパクトドライバー	品番：TD1710	[株式会社マキタ]
5-8	デルタゴンビットSDSプラス φ11.0	品番：DLSDS110	[株式会社ミヤナガ]

6. 試験方法

1) 下穴穿孔

ハンマードリルにて母材へ下穴を穿孔する。

下穴穿孔後、ダストポンプ等を用いて下穴を清掃する。

2) 試料施工

インパクトドライバーにて、試料を指定の埋込深さまでコンクリートへねじ込む。

3) 試験機設置・測定

（一社）日本建設あと施工アンカー協会（JCAA）の試験法に準じて、カプラーを介して試料おねじ部とテンションロッドを接続し、油圧ジャッキにて引抜き荷重を載荷する。カプラーに付随する2本の変位測定ロッドに変位計をセットして2点の変位量を測定する。この2点の平均値を変位量として記録する。荷重と平均変位量をデータロガーに入力し荷重変位曲線を得る。

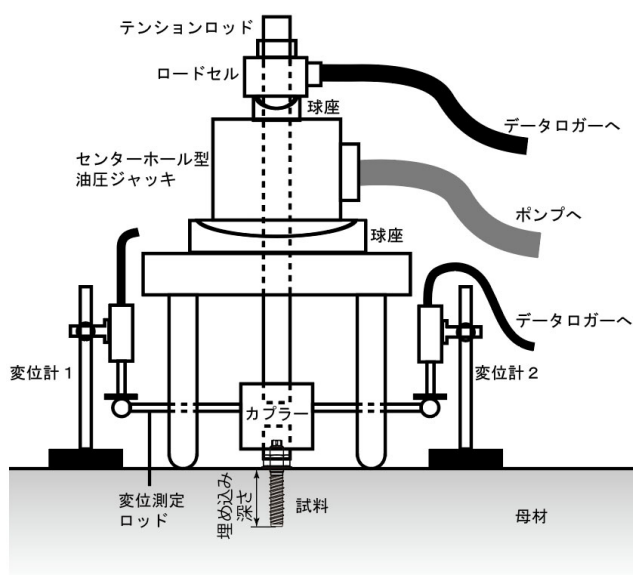


図1. 試験機構成イメージ



図2. 試験状態

7. 試験結果

引抜き試験結果を表 1 へ示す。

表-1 引抜き試験結果

単位：kN

試料	TP1260
穿孔深さ(mm)	50
埋込深さ(mm)	40
試料No.1	14.836
試料No.2	13.333
試料No.3	13.584
試料No.4	13.333
試料No.5	11.299
平均	13.277
標準偏差	1.27
変動係数(%)	9.6

破壊形態：全てコーン破壊

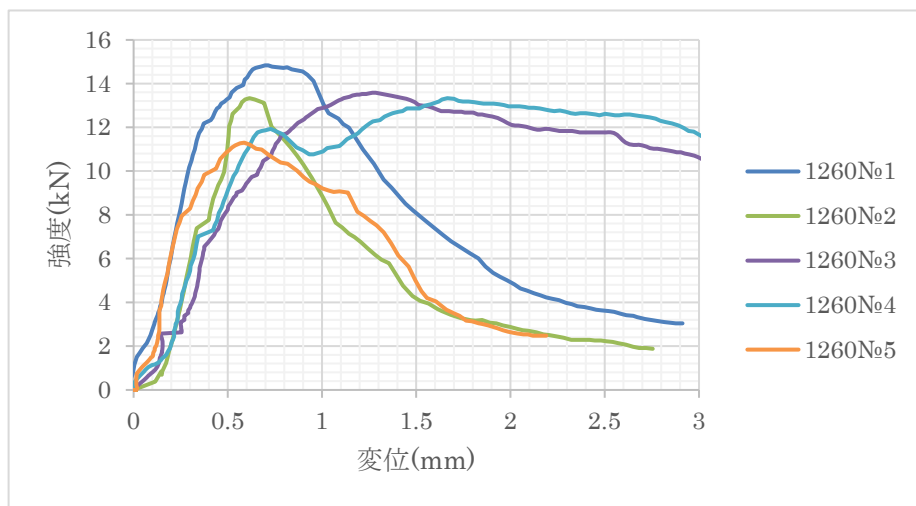


図 3. 引抜き試験結果グラフ



図4. 破壊形態代表例

本試験結果は、試験測定値の最大値を示しているものであり、この試験結果を保証するものではありません。
ご使用の際は、使用状況に応じた安全率を十分考慮の上ご使用ください。

—以上—